

## 公共交通不便地域対策の今後の取組みについて

「新たな公共交通不便地域対策の導入」に向けて、下記のとおり令和2年度において実施予定の取組み等を報告する。

### 記

#### 1 砧モデル地区における定時定路線型コミュニティ交通の検討

##### (1) 実施予定の取組み

##### ① 需要予測アンケート調査の実施

運行ルート沿線200mの番地に在住の方から3,000名（内1,500名は65歳以上）を無作為抽出し、コミュニティ交通の利用意向等をアンケートにより確認する。調査の結果により、実証運行移行の可否を判断する。

##### ② 砧モデル地区版マニュアルの作成

- i) これまでの調査・検討を踏まえた内容記載
- ii) 地域の方にわかりやすい手順等の表示
- iii) 実証運行等、各ステップへの移行及び継続条件の明示 他

##### ③ バス停地先交渉等、地元を含む関係機関との調整

#### 2 定時定路線型以外の交通手段の分析・検討

区内全体の対策として、民間企業との連携（官民連携）の可能性も視野に入れつつ、デマンド交通や相乗りタクシー等の交通手段の分析・検討に着手する。

#### 3 スケジュールの変更について

国の緊急事態宣言の延長等、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を踏まえ、需要予測アンケート調査の実施等について2カ月程度スケジュールを遅らせることとする。

その為、砧モデル地区の取組みスケジュール及び全体の検討スケジュールを見直し変更する。

	(砧モデル地区)	(全体)
令和2年 7月	需要予測アンケート配布	他の交通手段の検討
8月～10月	アンケート結果集計・分析 地域公共交通会議の実施	
11月	公共交通機関対策等特別委員会 (アンケート結果等の報告)	
12月	モデル地区版手引き策定	
～	事業計画の検討	
令和3年10月	実証運行	

\* 令和4年7月以降に砧モデル地区での実証運行継続の可否と、定時定路線型の他地区での有効性を、他の交通手段の検討状況と合わせて総合的に判断する。

#### 4 その他

国の緊急事態宣言、東京都の緊急事態措置等の動向を注視し、状況に応じてさらなるスケジュールの見直しを行う。